



## 各団体総会特集



5 **10** スプリングフェア



5 **7**・**11** 本別・大成地区  
ごみ拾い



4 **28** 家族協定調印式

今年も  
人気の  
牛丸焼き

寒空の下でも盛況に開催!

# JA けねべっ スプリングフェア



組合長、今年の丸焼きの焼き具合はいかがですか？

当農協では、春の一大イベント「JAけねべっスプリングフェア」を五月十日に農協裏の特設会場で開きました。当日は肌寒い天気にもかかわらず、多くの組合員や地域の人たちがつめかけ会場はにぎわいました。会場では食料品や生鮮品、日用品の特売のほか、タイヤやガーデニング用品などを通常より安く提供。ゲーム大会やオークションも行なわれ、モデルカウによる搾乳疑似体験と二頭の子牛も子どもたちの人気を集めていました。また、フェアの目玉として定着している牛丸焼きには行列ができ、炭火を囲んで牛肉をほお張る姿はみな笑顔。ほかにも青年部ジャンボンバーグや女性部のうどん・そばとミルクもちでお腹を満たし、乳製品の試食にも多くの人が集まりました。



各種取り揃えています(乳製品試食)



ポーズが決まっています



「ミルクもちちょうだ〜い!」



女性部ミルクもち。初出品です



「子牛かわいいネ!」



これが農高と和牛振興会のコラボ製品「和牛ハンバーグ」です



アサリのつめ放題



まいどあり～！  
(青年部ジャンボハンバーグ)



農高の「計根別食紀行」シリーズ。いつも大人気です



「ハンバーグ、2個下さい」



牛肉おいしいですか？



一輪車の重さ当てゲームです



牛丸焼きの配布です



牛のおっぱい出るかな？



車もオークション



抽選会の1等賞ゲット！



オークション、狙いの品は？



早く当たらないかな～



ゲーム大会の賞品はお米です



ジャン・ケン・ポン！

# 自給飼料の品質向上で良質乳生産を

## 計根別農協酪対第十六回定期総代会



「草地更新を進め生産拡大を」と頼綱会長

計根別農協酪農対策協議会（頼綱成喜会長・百六十八名）は四月十八日、農協会議室で第十六回定期総代会を開きました。

頼綱会長は「十九年度の生乳生産数量はわずかな未達（九十九、八％）となったが、（酪農情勢が厳しかったにも関わらず）酪農家のリタイアはわずか一件にとどまった。二十年度も大きな生産の伸びは期待できない状況にあるので、自給飼料品質向上対策事業による草地更新で良質粗飼料を確保し生産拡大につなげてほしい」とあいさつしました。

一木義春さんが議長を務めた議事では、目標数量に百三十九トマイナスの八万六千六百三ト（前年比一〇一・一％、目標対比九十九・八％）で終了した二十年度事業及び生乳汚染事故賠償保険基金の収支決算を承認。二十年度の生乳生産計画は全道の目標と同様の前年比一〇三％に設定。また、乳製品消費拡大「3・A・DAY」運動の継続展開やポジティブリスト制度に対応した記帳による安全・安心に

係る取り組みの継続等を全会一致で可決しました。

### 二十年度の年間を通じての取り組み

#### 経営対策

生乳需給・計画生産情報の迅速な提供と対応

定着する牛乳・乳製品消費拡大運動の展開  
酪農基本政策への参画と意見集約

#### 技術対策

高品質な自給飼料確保のための自給飼料品質向上対策事業への参加

乳牛の乾乳期における飼養管理の改善と衛生管理の強化による乳房炎防除の推奨

家畜糞尿臭気対策にかかる支援

生産現場の安全証明に係る記帳と記録の検証

家畜防疫体制の強化（牛舎清掃・消毒・

予防接種の啓蒙推進）

#### 環境対策

良質乳生産共励会の実施と産業廃棄物・

ゴミ処理対策



一木さんが議長を務め議事を進行

## 桜の並木作りを支援

### 計根別農協地区連合協議会

#### 第二十六回定期総会

計根別農協地区連合協議会は（頼綱成喜会長・百九十二戸）は四月十八日、第二十六回定期総会を農協会議室で開き役員、常任幹事の計十五名が出席しました。

総会では十九年度事業として養老牛地区と上標津地区の五十二線沿いの桜並木植樹と各地区の敬老会や運動会、盆踊りへの助成等を報告。

二十年度も五十二線沿いで継続して行なう桜植樹などへの助成を可決しました。



# 低コストで良質な生乳生産を 計根別乳牛検定組合第33回通常総代会

計根別乳牛検定組合（漆原功組合長・百三十四戸）は四月二十一日、第三十三回通常総代会を農協会議室で開きました。

漆原組合長は「全道各地の乳質レベルが上がリ、当組合の順位が下がっている。新年度は底上げを図っていききたい」とあいさつしました。

十九年度は、加入戸数が一戸減の百三十五戸となり酪農家全体の八十一・八%を占めたこと、自動乳温記録計の全戸設置に伴うAT検定（毎月朝晩交互に行なう簡易検定法）推進により、二十五戸がA四検定（四週間毎に朝晩行なう従来の検定法）から移行



AT検定の推進で加入を促進する乳検組合

して九十三戸となったことなどを報告。

また、二十年度事業として、酪農経営基盤の基礎データとなる乳検成績の正確・迅速な提供はもとより、AT検定を基本として検定業務・料金体系の検討を図り、より良質で低コストの生乳の増産により、消費者に安心・安全な製品を届けていくことを基本としていくことを全会一致で可決しました。

## 二十年度の重点事項

一、乳質改善と衛生管理の徹底

● 体細胞数三十万・生菌数一・四万以下のクリア率を向上させる。

● ポジティブリスト制度による生産履歴記帳の励行

二、検定事業の推進  
● AT検定法を基本とする業務・料金体系の検討。

三、乳検成績の活用  
● 講習会の開催。

四、乳検加入推進  
● 農協重点実施事業への参画  
● 乳検利用価値を説明し新規加入推進を図る。

# 増加する傷病利用を強化

## 計根別農協酪農ヘルパー利用組合 第二十回 通常 総 会

計根別農協酪農ヘルパー利用組合（安斉宏一組合長・百四十四名）は四月二十一日、第二十回通常総代会を農協会議室で開きました。

総会では十九年度のヘルパー利用状況を報告。ヘルパー要員の稼働延べ日数は二千五百六十四・五日と前年を六十二日下回った一方で、傷病対応に関しては八百九十三・五日と、前年の六百五十六・五日を大幅に上回った（前年比百三十六%）ことを報告。酪農作業が高度化する反面、組合員家族の入院、ケガ等も増え、発生時のよりスムーズなヘルパー対応が求められることが顕著になってきているとしました。

また、ヘルパー利用組合互助会の規約を一部改正し、組合員家族が出産する場合の利用負担分の軽減策を考慮。改正後は連続五日以上の利用で傷病対応となる期間を予定日二週間前、出産後五週間（以前は三週間）まで、対象期間は最



より利用しやすいヘルパー制度を模索する組合

大三十日（同十日間）に延長するなど、これから出産を控える若い組合員にはより利用しやすい互助会制度としました。

## 二十年度の重点事項

● 利用組合登録ヘルパーの確保  
● スムーズな傷病対応  
● 傷病利用体制の検討  
● 信頼関係のもてるヘルパー要員の育成

# 交流会の企画に青年自らの参画も検討

## 計根別農協担い手育成協議会第13回定期総会



「後継者の結婚問題は全道的な傾向」と別海町後継者対策室の桐島専任相談員

「一人でも多くの独身農業後継者に伴侶を」との目的に活動する計根別農協担い手育成協議会（纏織成喜会長、各地区協議会や農協青年部・女性部の代表者で組織）は四月十八日、第十三回定期総会を農協会議室で開きました。

総会では十九年度事業として、三組の結婚成立や中標津町秋季および冬季交流会への参加状況などを報告参加青年の減少や後継者の高齢化は計根別のみならず全道的な傾向で、女性後継者への対策も課題としました。交流会開催にあたり出席者からは「対象となる青年仲間同士の声かけも大事」「青年自らが企画に参加しては」などの意見も出されました。

### 二十年度活動の柱

一、両町対策協議会との連携による交流活動の事前・事後相談体制の強化。

二、年齢の高い後継者・女性後継者に対する個人紹介活動の強化。

三、青年に対する継続的な交流会参加の啓蒙。（青年の企画参画も検討する）

四、JAホームページアクセス者（個人交流希望者）受入れの検討。

## ひざを交えて 意見交換

### 地区別懇談会を各地区で開催



計根別地区で



組合長のあいさつに耳を傾ける大成地区の組合員

春の地区別懇談会が四月二十三、二十五日の三日間にわたり計根別、西竹・東西竹、大成、本別、上標津、養老牛の六地区で順次開かれ、農協の全役員および各部長と営農担当職員が出席。地元の組合員さんと活発な意見を交わしました。

懇談会では十九年度の農協決算状況と剰余金処分案、二十年度の賦課徴収方法と各種料金料率の設定、農協の経営基本方針や各事業の取り組みと営農支援対策などについて説明しました。

また、新年度となつて生乳生産は増産基調に切り替わつたものの、引き続きコスト高の厳しい経営環境下にさらされる組合員さんからは、農協各部門への様々な意見が出され、地域会館ならではのまさにひざを交えた活発な懇談会となりました。

# 和牛肥育事業を柱に

## 和牛生産振興会第一回通常総会



「計根別和牛の振興を」と西海氏

設立から丸一年を迎えた計根別農協和牛生産振興会（高橋英昭会長・会員四十一名）は四月二十八日、第一回通常総会を農協会議室で開きました。

高橋会長は「飼料や生産資材の高騰が酪農家の経営を圧迫し和牛の飼養環境にも影響が及んでいます。日頃の努力と愛情で和牛を飼育していただき、少しでも高く販売していただきたいと思います」とあいさつ。

来賓として根室農業改良普及センターから西海北根室支所長志鎌係長、上館主任の三名が出席。西海支所長は「和牛価格は依然として高値で推移しています。振興会も設立から無事一年

を経過しましたが、今後も各事業を強化しながら計根別の和牛振興に努めてください」と会の今後に期待を込めました。

須崎智さんの進行による議事では、会として和牛の肥育から販売までを手掛ける肥育事業の強化を二十年事業の大きな柱とすることを全会一致で可決。

終了後には、四月に着任した上館主任による和牛の現況や市場動向、購買者の意向、優良交配などについての講習も行なわれました。



議事を進める須崎議長（右）と高橋会長

# 買手にも喜ばれる素牛作りを

## 和牛振興会講習会

計根別農協和牛生産振興会は三月十七日、和牛の育成管理講習会を農協会議室で開き、十五名が参加しました。

講師は根室農業改良普及センターの白取英憲主任と松本啓普及員。松本氏による府県和牛農家の視察報告に続き白取氏が「子牛の哺育と育成」と題し講演しました。

白取氏は北海道の和牛動向について、飼養頭数は全国三位、市場価格は平均以上で増頭意欲は一番だが、市場出荷月齢が高いため、出荷までの飼養期間を短縮することを今後の課題に上げました。そのためにも太り過ぎず、フレームのある素牛作りを行い、販売価格は日齢単価で評価するよう提言しました。

また、最近の購買者は飼養農家や農協の差別化を進めているので、「あそこの牛なら安心して買っていける」など、購買者から信頼され選ばれる

農家、生産組織を目指しましょう」と参加者に呼びかけました。

### ☆肥育農家に喜ばれる素牛

肋張りが良い（粗飼料を十分に食い込み、第一胃が発達している）

ひきしまった体（運動、日光浴により骨格、筋肉、内臓が発達している）

太りすぎではない、尾枕がついていない

尾枕＝尾根部付近の余分な脂肪、腹腔内脂肪に比例し、付き過ぎるとサシが入らない。

### ☆子牛が生まれたら

羊水を吐かせる  
へその緒の消毒  
体を乾かす

母牛が羊水を舐め取る。又はリッキング（敷料で拭く）  
子牛の呼吸や血液循環など生理機能が活動する。

初乳の給与（子牛が立ち上がり、体が乾いた頃に飲ませる。生後六時間以内であれば免疫グロブリン吸収率は変わらない。）

## 高泌乳・連産性に優れた改良を推進！

### 個体の有利販売も視野に

## 第32回

# 定期総会

計根別農協乳牛改良連合会（二瓶義則会長・会員九十一名）は四月三日、第三十二回定期総会を農協二階会議室で開きました。

開会にあたり二瓶会長は、十九年度における会員のオールニッポン受賞や全道共進会でのリザーブチャンピオン獲得、エクセレント牛輩出などの改良成果を述べるほか、「会員の所得確保に向けて販売課と連携し、余剰牛の有利販売に向け

た取組にも努めたい」とあいさつしました。



会員の結束で好成績を上げ続ける乳改連メンバー

上標津同志会の坂地浩二さんが議長を務めた議事では、乳牛個体の有利販売も視野に入れた二十年度事業計画を全会一致で可決。会員からは「近年近親交配が進み、交配に



「所得確保対策にも目を向けたい」と二瓶会長

苦慮しているため、近交回避に向けた農協選定種雄牛の選畜にも積極的に取り組んでほしい」などの要望も出されました。

また、任期満了に伴う役員改選では二瓶会長を再選。

当日の夜には、場所を変え、十九年度各種表彰を行いました。

### 平成二十年度事業計画

【有利個体販売に向けた取り組みを主体に】

- 計根別B&Wシヨウの開催
- 受精卵の情報提供
- 近交回避プログラムの推奨
- 哺育・育成技術に関する講習会および視察研修の実施
- 市場上場向け毛刈り講習会の開催
- 個体能力向上に向けた取り組み
- 広報活動（広報けねべつ、デーリーマン、農協HP等）
- ジャッジマン養成と人脈形成

### 十九年度特別表彰

- 二〇七北海道ホルスタイン・ナショナルシヨウ・リザーブ・インターミデイエイト・チャンピオン  
ケネカランド ジョイフル ダンカン エル（ケネカランド所有）
- 第二十九回オールニッポン ホルスタイン コンテスト 未經産シニアクラス受賞  
HEF ロイター アス（ハイエストファーム所有）
- 牛群平均乳量1万kg以上  
美馬農場、小西宏晃
- エクセレント級獲得  
ヒルタビユー ストーン フロントチエルシー（蛭田健太郎所有）  
（敬称略）

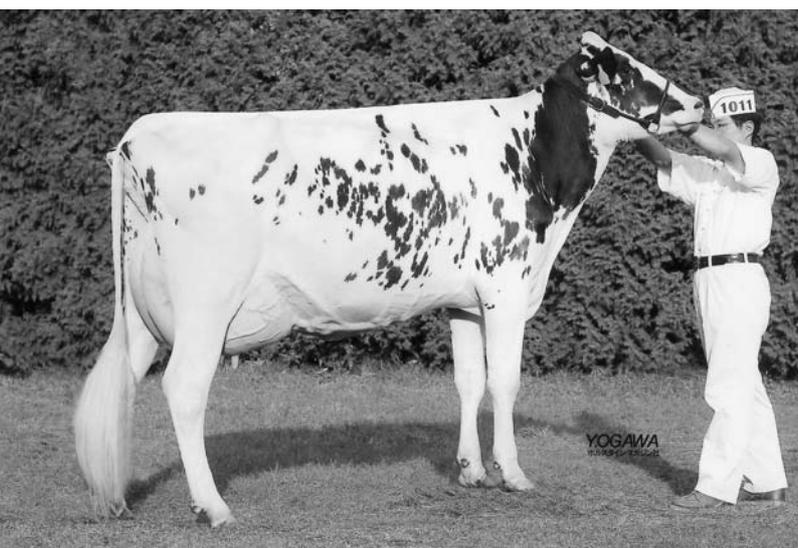


新体制の二瓶会長、本田（勉）副会長、蛭田監事、本田（正）監事（左から、漆原副会長は欠席）

# ケネカランドさんに新たな勲章

## ダンカン・エル号がオール・ニッポンに輝く!

平成十九年に活躍した牛を対象とする、第三十回オール・ニッポン・ホルスタイン・コンテスト(デリーマン社・全国酪農協会共催)の結果がこのほど発表され、当農協の(株)ケネカランドが所有するケネカランド・ジヨイフル ダンカン エル号が三歳経産ジュニアクラスのオール・ニッポンに選ばれました。同コンテストは全国各地の共進会・BWショーで首位入賞した牛を月齢・年齢別の十一部門に分け、その年の日本一の牛を決めるというもの。エル号は、昨年の北海道ホルスタイン・ナショナルショウで計根別初のインターミディエイト・リザーブ・チャンピオンにも輝くなど、ご記憶の方も多いことと思います。



当農協5頭目のオールニッポン牛となったダンカン・エル号(19年の全道共進会で)

と家族の支えによって乳牛改良を続けてこられたこそその結果で、みんなに感謝しています。今後も意欲が続く限り、改良に励んでいきたいです」と語っています。

なお、当農協にとつてのオール・ニッポン受賞は、昨年のH E F ロイター アス号(尙ハイエストファーム所有・当時)に続くもの。通算五頭目の快挙となります。



計根別ジュニアホルスタインクラブ(会員十七名)は四月二日、農協会議室で第二十回通常総会を開き、会員九名、運営委員の父兄五名が出席。来賓として富田農協参事、中標津町の柏川経済部長、矢本農林課長、根室農業改良普及センターの濱本普及員、二瓶乳改連会長、鈴木青年部長、西丸女性部長が出席しました。

### 今年の根釧合同サマースクールは旧若竹小で 計根別ジュニアホルスタインクラブ 第二十回通常総会



当日作成した活動パネルの前で

前日の吹雪の影響もあり、会員の出席が若干寂しい総会となりましたが、二十年度計画として旧若竹小での根釧合同サマースクール開催やジャガイモの植え付け加工を行なう学習会の実施、全道酪農教室参加などを決定。役員改選では新会長に綱川佳奈さん、運営委員長に田中洋希さんを選任しました。

## 地域貢献活動を柱に

農協  
青年部

第57回

# 通常総会



全員で青年部綱領を朗唱

計根別農協青年部（鈴木直良部長、部員六十四名）は四月十五日、農協会議室で第五十七回通常総会を開きました。

鈴木部長は、「十九年度は、厳しい（酪農情勢の）中でも一定の活動成果を上げることはできた」と一年の活動を振り返るとともに、「一月の地区青協幹部研修における農水担当者との意見交換の際には、『酪農は最も注目されている業種。現実には厳しいが、希望を持ち、地域の若者の声をどんどん聞かせてほしい』と要望された。また、農林中金の調査対象に唯一、当青年部が選ばれたが、これは全国の酪農地帯で一番活気ある青年部だと思ってもらえたからこそ。いま、青年部は注目されていると感じるし、そのことはとてもうれしいが、さらにしっかりと活動しなければと思いを新たにしたい。これからも多くの部員の意見を聞き、それを肥やしにして今後の活動を進めたい」とあいさつしました。

来賓としてあいさつに立った纈織成喜組合長は「部員同士の関係を深めながら、青年部は活気ある活動をしている。酪農は危機的状況にあるが、若者の発想でしっかりと『ジョン』を持ち、



「さらにしっかりと活動を」と鈴木部長

農協運営にも積極的に参画してほしい」と呼びかけました。

計根別支部の小林雄一さんが議長を務めた議事では、ジャンボハンバーグによる各種イベント参加やお歳暮ギフト取りまとめによる乳製品消費拡大活動などを展開した十九年度事業を承認。また、新たな取り組みとして、交通事故防止に向けた各地区交差点の草刈りなども盛り込むなど、より地域に貢献できる活動を柱とする二十年度事業計画を全会一致で可決しました。

### 二十年度活動計画

●牛乳・乳製品の消費拡大活動  
各種イベントでの消費拡大運動

R 消費拡大メッセージによるP

酪農体験学習会の開催

チーズ作り研修会の継続

乳製品ギフトの取りまとめと

消費者ニーズの把握  
●意欲的・自発的な青年活動の実践

地域貢献につながる活動

地域とのつながりを知る活動

部内・各組織での交流事業と

異業種間交流の実施

交通安全意識を高める活動

専門部会・各支部活動の充実・

強化

●関係機関との連携を密にした

事業の強化

酪農経営全般を学ぶ研修・学

習会の開催

系統肥料自主推進の継続と共

同購入による系統利用の推進・

強化

リーダー養成や組織活動の理

解深める研修会への積極参加



スクリーンを使って活動報告

チャレンジ

# 未来に伝える農業であるために

## JA根室地区青協第57回通常総会



ガンパロー！三唱

根室地区農協青年部連絡協議会（JA根室地区青協）は四月十八日、第五十七回通常総会をJA中標津会議室で開き、代議員五十七名が出席。当青年部からも十名が出席しました。

佐々木大輔会長（JA中標津）は、「乳価は引き上げられたが、酪農経営環境はまだまだ良くなかったとは言えない。根室地区青協の組織力を最大限に生かし、大きな声にして発信していきたい。いま、根室地区の盟友の活躍が全道でも高い評価を受けている。この勢いを北海道農業の元気につなげたい」とあいさつしました。

議事では、二十年度事業計画を全会一致で可決。統一スローガンを「チャレンジ 未来に伝える農業であるために」と設定し、青年部のネットワークとフットワークを活かして消費者が求める情報を提供し、国内の農業の必要性と国産農産物の重要性を伝えていく活動を中心に、各種活動を展開していくこととしました。



白井会長（左）と新執行部メンバー

また、任期満了による役員改選ではJAべつかいの白井貴之さんが新会長に、当青年部の鈴木部長が監事に就任しました。

### 平成二十年度役員

会長 白井 貴之（べつかい）  
副会長 細田 圭一（べつかい）  
" 本庄 義規（西春別）  
" 鈴木 直良（計根別）  
監事 鈴木 直良（計根別）  
" 中本 信幸（中標津）

With you  
～未来を創る～

# 北の大地で“凛”と生きる農業人

## JA北海道青協第57回定期総会



新執行部、中央が佐々木副会長

北海道農協青年部協議会の第五十七回定期総会が四月八日にホテルモントレ札幌で開かれました。全道から二六二名、当青年部から鈴木直良部長、二瓶裕貴副部長と事務局の三名が出席しました。

杉山博樹会長は「農業諸政策の実現に向け道内盟友の連携の力を発揮していこう。また、中国産輸入食品に対する安全性への不安から、消費者が道産食品を見直すきっかけとなったが、当協議会の「心を繋ぐ」というスローガンの下、さらに国民消費者と広いつながりを持って、道産農産物への理解につなげよう」とあいさつしました。

東京地方の悪天候で講師が到着できず、総会前に予定された研修内容が変更されるハプニングもありましたが、十九年度事業の承認および二十年度計画は全会一致で可決されました。

また、任期満了による役員改選では、根室地区青年部協議会の佐々木大輔会長（JA中標津）が副会長（酪農畜産担当）に選出されました。

二十年度統一スローガン  
『With you ～未来を創る～』  
年間活動テーマ  
『北の大地で“凛”と生きる農業人』



鈴木部長と二瓶副部長（右から）

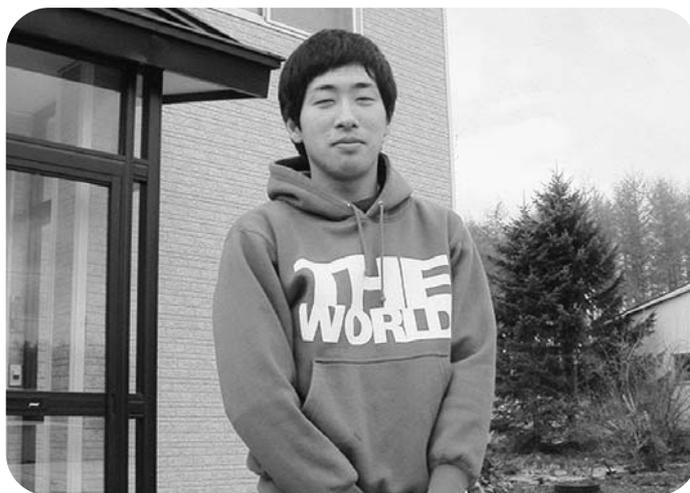
### 新三役

会長 越後 功（JAようてい）  
副会長 牧 清隆（JAひがしかわ）  
" 植松 孝雄（JAところ）  
" 佐々木大輔（JA中標津）

# THE FRIEND CONNECTION

滝本 周太 (西竹支部)  
S62.1.11生 21歳

- Q1. あなたの趣味は?  
A1. 音楽鑑賞 (レゲエとか…)  
Q2. あなたの特技は何ですか?  
A2. 太っ腹なところ  
Q3. 好みの女性は? 芸能人に例えると…  
A3. 山本モナ (年上好き!?)  
Q4. 将来の目標は?  
A4. 全道共進会出場!  
Q5. あなたの夢は何ですか?  
A5. 安定経営  
Q6. 友達を紹介してください  
A6. 本田敏明くんです。  
Q7. なぜ本田くんを選んだのですか?  
A7. 尊敬する先輩!?だから



## 家族間でのルールづくりを推進

# 20年度経営移譲者家族協定調印式



家族間での経営移譲時などにおいて、農業経営に必要な資産の分割を防ぐとともに、お互いに責任を持って経営に参画し、近代的な農業経営の確立と健康で明るい家庭環境を作ることを目的とする家族協定の調印式が四月二十八日に農協会議室で行なわれました。

今年度協定を結んだのは、一月に経営移譲した上標津地区の坂地定義さん浩二さん親子夫婦など四組。式には農協のほか地区担当の農業委員四名も出席しました。協定書にはそれぞれ経営計画や生活方針、役割分担、生活費用の配分や取り決め、資産の帰属などそれぞれの家族によって必要事項が盛り込まれています。

式では経営を次世代に譲った親御さんに、永年の労をねぎらってもらおうと旅行券を贈呈。やや緊張した面持ちだった家族からも笑顔がこぼれました。

また、当日午後からは中標津町の家族協定調印式も行なわれ、坂地さん親子と長谷川さん親子が調印に臨みました。



### 二十年度の経営移譲者

坂地 定義 ↓ 浩二  
長谷川 善一郎 ↓ 孝二  
砂越 武男 ↓ 健一  
佐藤 勝夫 ↓ 真

(敬称略)

# 酪農後継者が経営や乳牛管理技術の基礎を学ぶ

## 20年度ステップアップ講座を開始

計根別酪農の次代を担う後継者や若手女性（農業従事から概ね十年以内または四十歳未満）が、経営や乳牛飼養管理技術の基礎を学び、社会人としての教養も身に付けようという酪農経営ステップアップ講座の今年度第一回講座が五月八日に農協会議室で開かれました。

講座には後継者十四名と女性三名の計十七名が出席。農協営農部の中瀬部長と根室農業改良普及センターの濱本普及員がそれぞれ営農に関する基本的な講習を行ないました。

はじめに中瀬部長が講座の目的や年間カリキュラム、農協経営方針と営農部の取り組みについて説明。組合員勘定営農コード表を使ったクミカン報告書の見方と簡単な経営分析について講義しました。つぎに、濱本普及員は「草地の肥培管理」として、計根別地区の土壌特性や良質粗飼料生産に向けた草地作り、施肥の実際と設計、草地の良し悪しの見分け方などを講義。出席者は今年の牧草収穫に向け気持ちを新たにしていきました。

### 今後の講座予定と内容

毎回案内致します。講座に興味のある方の参加も大いに結構です。

#### 第二回（六月十日）

- 農協、青年部・女性部とは《JA中央会・平野主査》
- 暑熱期の乳牛管理・牛舎の換気と給水 《農業改良普及センター・志鎌

#### 係長》

#### 臨時講座（六月十三日）

- 牧草収穫・サイレージ調整の前に《ホクレン担当者》

#### 第三回（七月下旬）

- 乾乳牛の飼養管理《講師未定》
- 経営管理指標について《営農部》
- 上半期の乳量およびクミカン実績と下期の予測《営農部》

#### 第四回（八月）

- 草地更新・土改剤・肥料施肥の事例について《講師未定》

#### 第五回（九月）

- 乳検情報の見方と活用・良質乳生産と繁殖改善に向けて 《酪農検定協会・荒井考査役》
- 一番草の粗飼料成分と給餌対策《ホクレン担当者》

#### 第六回（十月）

- TMRセンターの視察および学習会 《農業改良普及センター他》

#### 第七回（十一月）

- 夢ある酪農青年として《JA摩周・渡辺代表監事》
- 冬季間の乳牛管理《講師未定》

- コーンの利用と栽培《農業改良普及センター》

#### 第八回（十二月）

- 大人のための国語講座《農業高校・小野田教諭》
- 後継牛作りに向けた哺育育成《講師未定》

#### 第九回（二十一年一月）

- 税務講習・税金の流れについて《営農部》
- 牛群序列を考えた牛舎レイアウト《講師未定》

- 牛床資材・敷料の考察《農業改良普及センター》

#### 第十回（二月）

- 酪農情勢と青年部・女性部《日本農業新聞記者》
- 乳牛の疾病《NOSA I獣医師》

#### 第十一回（三月）

- 乳牛改良について《外部講師・酪農課》
- 黒毛和牛の活用《農業改良普及センター・上館主任》



第1回講座のようす

# 外 郭 団 体 等 一 覧

組 織 名	代 表 者	副 代 表	事 務 局	員 数
計根別農協青年部	 鈴木直良	  二瓶裕貴 中村正博	 喜来 実	65名
〃 女性部	 西丸アヤ子	  中垣直美 渡辺広美	 岩本めぐ美	80名
〃 手つなぎの会	 水沼和子	 相澤みね	 岩本めぐ美	16名
計根別乳牛検定組合	 漆原 功	 須崎 智	 桜井昭治	134名
計根別農協酪農ヘルパー利用組合	 安斉宏一	  柵木真喜夫 久保伸一	 藤田恒久	145名
〃 乳牛改良連合会	 二瓶義則	  本田 勉 漆原俊之	 深見 亮	91名
〃 和牛生産振興会	 高橋英昭	  唐崎幸司 佐久間孝市	 小林央知	41名
〃 青色申告会	 唐崎幸司	  生田 勲 佐久間忠	 蛭崎康夫	175名
〃 年金友の会	 氏家虎夫	  株田昭二 曾根一男	 熊谷昌仙	177名
〃 担い手育成協議会	 纈纈成喜	 西塚秀夫	 高橋美和	14名

構成員数はH20期首

# 計 根 別 農 協 の

組 織 名	代 表 者	副 代 表	事 務 局	員 数
計根別農協酪農対策協議会	 纈纈成喜	 西塚秀夫	 高橋英穂	168名
東部地区酪対	 柵木真喜夫	   須永昌和 杉本公也 須崎 智	 高橋英穂	55名
西部地区 "	 影山 孝	  久保伸一 助口 明		50名
南部地区 "	 安斉宏一	  宍戸浩一 相澤 親		62名
計根別農協地区連合協議会	 纈纈成喜	  西塚秀夫 久保伸一	 大友賢治	212名
計根別地区 26戸  須永昌和	上標津地区 22戸  久保伸一	西竹地区 26戸  杉本公也		
東西竹地区 17戸  須崎 智	養老牛地区 43戸  助口 明			
大成地区 50戸  宍戸浩一	本別地区 28戸  相澤 親			
中標津町中山間計根別地区集落	 柵木真喜夫	  葛西秀夫 須崎 智	 高橋英穂	個人 118 法人 7 組織 3
別海町中山間計根別サブ集落	 相澤 親	  宍戸浩一 安斉宏一	 蛸崎康夫	個人 66 法人 1 組織 1

# ゆいこくへお願いします

# 新採用職員紹介



吉田和広

この度、計根別農協でお世話になることになりました吉田和広です。計根別農協に入組する前は、酪農学園大学に在学していました。在学中は酪農に関する様々なことを学ばせていただき、また多くのことを体験させていただきました。生まれは別海町ですので、計根別とはまさに目と鼻の先です。そんな愛する根釧の大地で働けることをとてもうれしく思っています。まだ仕事に慣れておらず、皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、まずは組合員の方々の顔を覚えること、また覚えてもらえるように励んでいきたいと思えます。そして一刻も早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるようになっていきたいと思えます。これからよろしくお願ひいたします。



片岡美幸

この度、計根別農協でお世話になることとなりました片岡美幸です。計根別農協に来る前は、帯広畜産大学で乳牛の繁殖について学んでおりましたが、酪農の現場に関する経験はなく、判らないことばかりです。趣味は乗馬・水泳・英会話・音楽といろいろ挑戦しています。最近ではドライブと温泉巡りが好きです。野球部のマネージャーにもなりましたので、これからもいろいろと挑戦していきたいと思えます。皆様方には何かとご迷惑をお掛けすることと思えますが、先輩たちの指導のもとで家畜人工授精師として一日でも早く、組合員の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思えますので、皆様からのご指導を賜りますようよろしくお願ひ致します。



佐藤愛里

四月から総務電算課に配属となりました、標茶高校総合学科卒業の佐藤愛里です。初めての事はかりで覚えることがたくさんあり戸惑う毎日ですが、先輩方のご指導のもと、少しずつではありますが、仕事を覚え頑張っています。組合員の皆さんとの交流を大切に、一日でも早くお顔と名前を覚えていきたいです。まだまだ未熟ではありますが、少しでも皆さんのお役に立てる仕事をできるように、一生懸命努力をしていきますので、これから宜しくお願い致します。



北川未来

今年、中標津高校事務情報科を卒業しました北川未来です。四月から金融係の出納担当として配属となりました。今はまだわからない事も多く、慣れない仕事で緊張の毎日ですが、一日でも早く仕事を覚え正確な仕事を心掛けて、組合員の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思っています。色々にご迷惑をお掛けしてしまうこともあるかと思いますが、よろしくお願ひ致します。



高橋久美子

五月一日から計根別農協でお世話になることになりました高橋久美子です。西春別旧市街出身で、計根別農協に来る前は、光進小中学校で働いていました。

今回ご縁があり、計根別農協で働くことができ、今は生乳販売課で充実した毎日を過ごさせていただいています。早く職場環境にも慣れ、組合員さんの生活に役立つよう頑張っていきたいです。まだまだ未熟な部分がありますが、一生懸命努力していきますので、よろしくお願い致します。



渡辺おり絵

この度、計根別農協でお世話になることになりました渡辺おり絵です。

計根別農協に来る前は北海道武蔵女子短期大学英文学科に在学し、英語を中心に様々な事を学ばせていただきました。

今現在、計根別農協にお世話になり一カ月が経ちましたが、まだまだ分からない事ばかりで、組合員の方々周りの先輩にご迷惑をお掛けしながら過ごしています。

しかし、仕事が一人前に出来ないながらもやりがいを感じ、毎日充実しています。

まだまだ未熟ですが、一日でも早く組合員の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。



羽田依世

五月から購買部資材生活課で働かせていただくことになりました羽田依世と申します。

働きはじめてから一ヶ月が経ちましたが、まだまだ不慣れでご迷惑ばかりかけており、いろいろ教えていただきながら少しでもこの地域、組合員さんのお役に立てるようがんばりたいと思っています。そのためにもどんな仕事にもママに取り組み、早く一人前になりたいと考えています。

これから日々勉強し精進して参りますので、厳しくご指導ください。ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、宜しくお願いいたします。

# 「いえ」に関する保障、大丈夫ですか？ JAの建更「むてき」 が建物、家財・家具をお守りします。

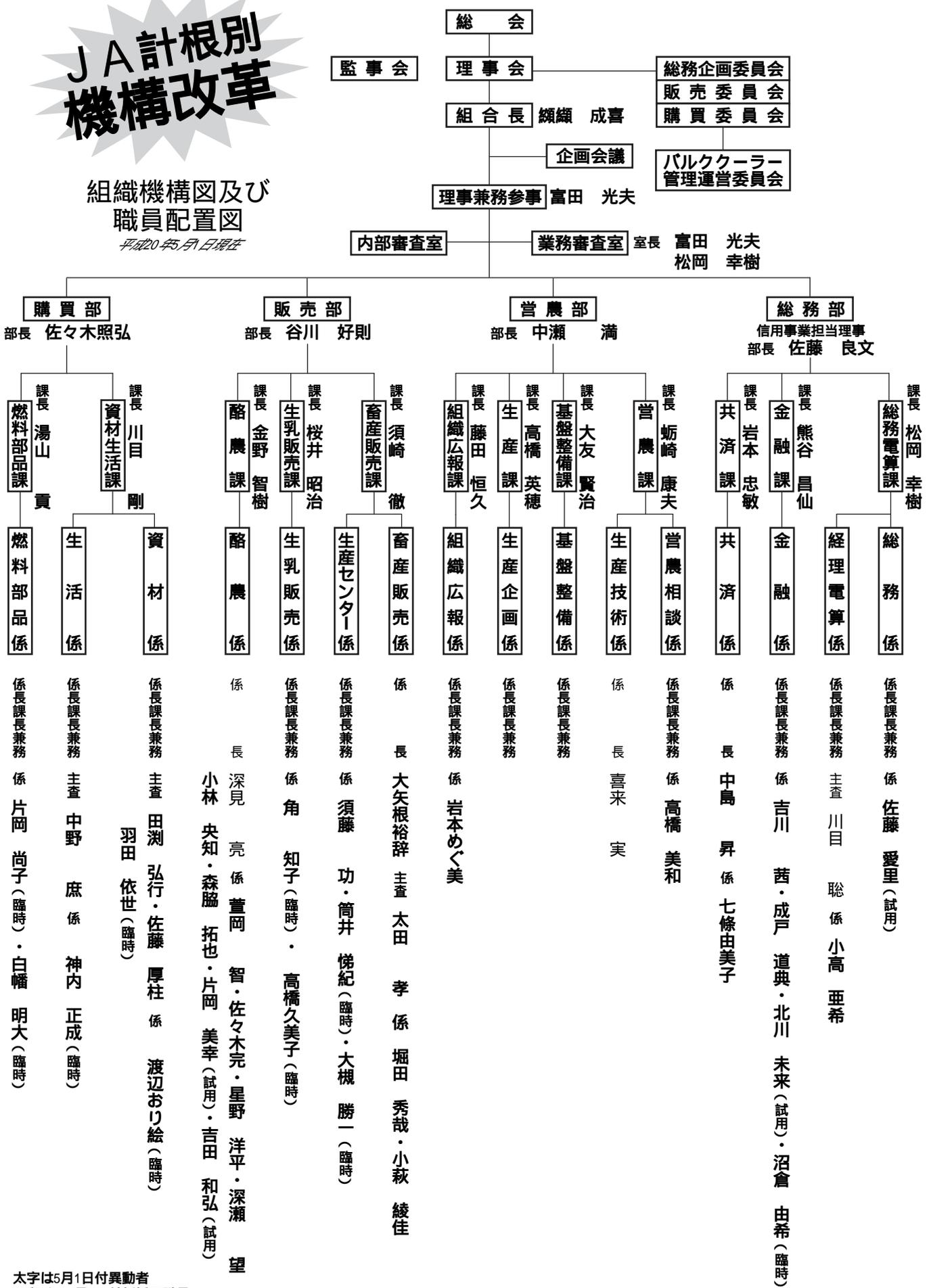
1. **保障範囲が広い** 建更は1つの契約で火災をはじめ落雷等の災害を補償します。
2. **地震に強い** 地震保障が自動的にセットされています。(保障額は損害の額の50%を限度)
3. **自然災害に手厚い保障で安心** 風、ひょう、雪、水災などの自然災害に対しても保障します。



# J A 計根別 機構改革

## 組織機構図及び 職員配置図

平成20年5月1日現在



太字は5月1日付異動者  
印は、5月1日付新採用職員

# 伝えたい！命の大切さ、食の大切さ

## 校内意見発表大会で水口さんが最優秀

二十年度の中標津農高校内意見発表大会が五月十六日、中標津町文化会館で開かれました。

発表は一学年から三学年の各クラス代表計十二名が発表。それぞれを食料、環境、文化・生活の三部門に分け、中標津町の塚原教育指導主幹他が審査した結果、生産技術科三年の水口昌美さんが発表した「2つの大切な心」を最優秀に、生産技術科二年の太田麗史君と食品ビジネス科一年の佐藤麻衣さんの発表をそれぞれ優秀賞に選出。三名は七月の東北北海道大会に出場することとなりました。

大会では、多くの発表者が食の安全や環境問題などについて訴えるなど、日頃から動植物と触れ合い、食品生産にも関わる農高生ならではの率直な意見が多く聴かれました。

そんな中、最優秀に輝いた水口昌美さんは「2つの大切な心」と題し命の大切さ、食の大切さについて発表。近年の「誰でも良いから殺してみた

かった」との短絡的な殺人事件や「賞味期限改ざん」といった食の信頼を脅かす事件に対して、命と食が軽視されている現代社会を憂慮。自身たちが進める「計根別食育学校」や「酪農教育ファーム」を通して「食を大切にすること」「命を大切にすること」に気づき、農業高校生だからこそ感じる大切な気持ちや薄れつつある大切な心について、一人でも多くの人に伝えていきたいとする発表は多くの聴衆の心をとらえました。



発表する水口さん

最優秀賞  
「2つの大切な心」  
生産技術科三年 水口 昌美

優秀賞  
「割り箸から世界を見て環境を考える」  
生産技術科二年 太田 麗史

優秀賞  
「日本の食糧自給率 私達の地域から発信できること」  
食品ビジネス科一年

佐藤 麻衣

## 二十年度 計根別小児童と野菜の種まき

# 食育学校が開校

中標津農業高校では五月九日、小学校の児童を招いて二十年度「計根別食育学校」を開きました。

参加したのは計根別小学校の四年生十四名と教諭三名。農高マネージメント分会の生徒の指導でトウモロコシとカボチャの種をまきました。今後の畑管理は同分会を中心とした生産技術科生徒が行ない、児童たちは苗のスケッチや定植など、生育状況をそのつど確認しながら秋の収穫を迎える予定です。

「食育学校」は小学生のほか幼稚園児や中学生、地域住民を対象に実施。授業や実習体験を通じ「開かれた農業高校」として地元との連携を深めるとともに、一年を通して畑作や加工実習を体験してもらうことにより、子供たちや農高生徒が互いに生きた食育を養うことを目的としています。



先生役の農高生が小学生に説明

# 放牧期の草地管理と飼養管理

放牧を始める前に牧柵の修理や敷設、水槽の設置、また施肥作業準備などを速やかにいき、スムーズに放牧に移行できるようにしましょう。例年の放牧開始の目安は5月10日～15日です。

## (1) 放牧地の施肥

放牧地が乾いたら、速やかに施肥作業を行うことが重要です。放牧開始には施肥後1週間から10日前後の日数を要します。つまり施肥作業が遅れば、それだけ放牧開始が遅れ、コストの抑制にはつながりません。防風林の日陰など場所によってはまだ雪が残っていたり、土壌水分が高く機械作業が困難な場所がある場合は、後回しにして出来るところから作業を開始しましょう。

表1 養分循環に基づく乳牛放牧草地の年間標準施肥量(kg/10a)

土壌	マメ科率区分	N	リン酸	カリ
全土壌	マメ科混播	4±2	4±1	5±1
	イネ科単一的	8±2	4±1	5±1

(平成20年度普及推進事項)

表2 放牧地への施肥時期と施肥割合

	年3回施肥	年2回施肥
施肥時期	早春：6月，7月：8月	早春：8月
施肥割合	1：1：1	1：1

注1) 表1の施肥量の幅は、最初平均施肥量で試行し、草量の充足や土壌診断によって調整するためのもの。

注2) 表1の施肥量は日中放牧を想定した採食量と排糞量を基に新たに策定された施肥標準量です。従って2，3時間程度の時間制限放牧の草地には適用できません。

## (2) 放牧地の転牧のポイント

放牧初期は、各牧区の牧草をサラッと食べさせるように一度、全牧区を転牧すると良いでしょう。これは5月下旬頃から牧草のスプリングフラッシュ(急速に生長する時期)があるため、これに乳牛の転牧が追いついていないと、後半の牧区では牧草が伸びすぎ、採食性が低下してしまいます。

このことが、途中で掃除刈りをしないと、牛がなかなか食べてくれない放牧地になってしまう要因です。乳牛の採食量をおおよそ把握しながら、牧区数と転牧期間をうまくコントロールし、掃除刈りなどの手間を減らした放牧地管理を目指してください。

## (3) 牧草の生長と成分変動に応じた飼養管理

放牧における大きな特徴は、牧草の生長量や栄養成分の変化(図1)にあわせて、乳量や乳成分が大きく変動することが挙げられます。この点に対応した飼料給与管理を行うことで、放牧による飼養管理コストの低減を大きく享受することができます。

図1によると放牧草のタンパク質は6月下旬頃に低下し、8月にかけて再び高くなる傾向が読み取れます。

この放牧草タンパクが高い時期にMUN(乳中尿素態窒素)が上昇するため、タンパクレベルを下げた配合に変え、乳牛の栄養バランスを整える必要があります(図2)。タンパクの目安は牛群で15～16程度に抑えられるようバランスをとります。17以上に上昇した場合は、コーン等タンパクの低いエネルギー系の濃厚飼料を増給しましょう。

図1 集約放牧農家のMF草地の草丈およびCP含量の推移  
(b)草丈とCP含量

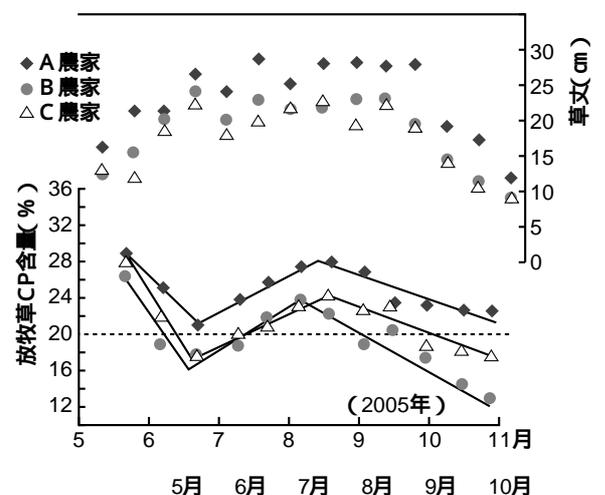


図2 配合飼料の給与例



中標津警察署 北のひろめーる

平成20年4月22日  
交通安全情報 No.5

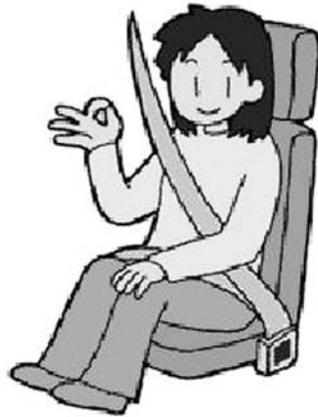
## 後部座席シートベルトの着用義務付けについて

～ まもろうよ きちんと カチッとシートベルト ～

[道路交通法の一部改正について（平成20年6月19日までに施行予定）]

### 後部座席シートベルトの着用義務化

改正前は運転者の努力義務だった助手席以外の同乗者（後部席などの同乗者）のシートベルトの着用義務が、改正後は完全義務化となり、運転者は自動車を運転する際には同乗者全員にシートベルトを着用させなければなりません。



## ポイ捨てはやめてね

あまりの量に苦笑い  
（大麻地区で）



## 中山間事業で道路沿いのゴミを一掃

大成・本別地区



大成の常盤地区で

冬場に投げ捨てられた道路沿いのゴミを拾い集めて環境美化に努めようとして、五月七日と十一日の両日、本別地区

区および大成地区の各地域で一斉清掃を行いました。

清掃は中山間別海町計根別サブ集落の事業の一環として行なったもの。

地域住民はもちろん、道行く人に少しでも快適に走行してもらえればとの住民の願いがこもっています。



松 永 慎 一さん  
明 菜さん  
4月29日挙式

根室生まれで上春別育ち。結婚前まで農機具会社に勤務していた慎一さん。一方の明菜さんは、JA中春別での勤務を経て、ご両親の酪農を手伝っていました。

2人の出会いは友人の紹介だそう。紙面を通じて「2人で仲良くがんばります。今後ともご指導をお願いします」と話す、素敵な笑顔が印象的なカップルの誕生です。

## 野菜や花壇作りに向けて

# 盛況だった園芸市



夏場の楽しみ、野菜や花壇作りに向けた園芸用品を販売する園芸市を四月二十一日にふあーまっく前で開きました。

市では、鹿沼土や植物の栄養剤、ハウス用ビニールなどの園芸資材から、長靴、衣類、ペットフードまで多くの品を販売。

タイムサービスでは特価品を求め、お客さんの行列ができるほどでした。



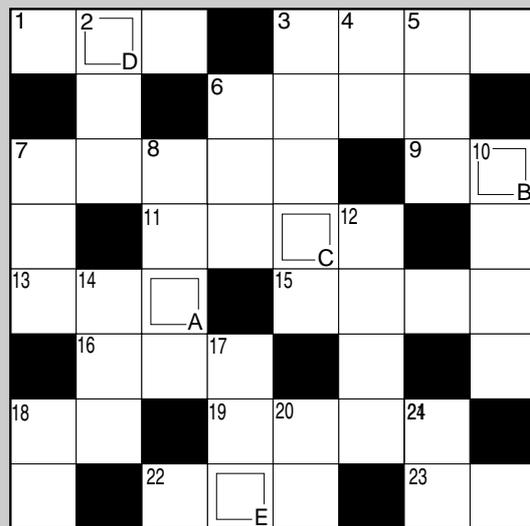
### 【タテのカギ】

- 2 武者人形がかぶっている
- 3 素敵な男性
- 4 蒲団の中身
- 5 聖火リレーの走者が持つ
- 6 波打ち際
- 7 宝物の倉
- 8 関係が薄い親類
- 10 テレビドラマ「水戸黄門」の重要な小道具
- 12 東南アジアの自転車を  
使ったタクシー
- 14 俳優に立ち回りを教える人
- 17 正式名称はカスタード  
プディング
- 18 刃の厚い包丁
- 20 粹
- 21 仏像を安置する箱型の  
容器

### 【ヨコのカギ】

- 1 日本古来のスカート
- 3 上手な人は二重回しもで  
きる
- 6 夜間試合の和製英語
- 7 他の種類の鳥に子育てを  
させるちゃっかりした夏  
鳥
- 9 「天変〇〇」
- 11 兄から弟へ
- 13 解答
- 15 音楽の前奏
- 16 腕時計の中で振り子の  
役目をする装置
- 18 門人
- 19 主な部分だけを簡単に  
書いた図
- 22 分数の除数
- 23 ゴルフコースの緑色の  
カーペット

## クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントを  
さしあげます。なお、正解者多数の場合  
は抽選とさせていただきます。

【応募方法】左下の点線の部分を事務所内  
(販売機横)の投書箱へ。または、組織  
広報係までFAX(78-2556)お願いし  
ます。

【締め切り】平成18年8月20日まで  
当選者の発表は「けねべつ」9月号誌上

## クロスワードパズル キーボード

抽選の結果下記の方が当選いたしました。  
すてきなプレゼントを差し上げます。  
組織広報係でお受け取り下さい。

助口ときこさん 影山 航大さん 片岡 美幸さん  
大澤アリサさん 田中 祥太さん

きりとり線

## クロスワードパズル

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

答え

A	B	C	D	E

きりとり線

## あ と が き

春の人事異動により今号から編集担当者が替わりました。「より読  
みやく、組合員の皆さんを結ぶ紙面」を心がけて参りますので、今後  
ともよろしくお願いいたします。しかし、その一方で最初の発行が  
5月を飛び越えいきなり6月の発行となってしまう、おわび申し上げ  
ます。

さて、当農協の第六十回通常総会が五月二十二日に終了しました。  
その模様は総会特集号として増刊いたしますのでご期待下さい。



## “モアン牧場入牧”

5月後半から順次始まったモアン牧場入牧。5月26日には各農家から集められた育成牛が多数入牧し、約千頭ほどが秋の下牧まで広大な牧草地で草を飲み続けます。

第六十回通常総会は増刊号で特集します。

組合長の公務によりモアの眼差しはお休みします。



編集 / 計根別農業協同組合 営農部 営農課 組織広報係  
発行日 / 平成20年6月 日